

座間高校サッカー部、海自『厚木マーカス』と初の『ジョイトレ』



合同練習



体験喫食

練習後は、基地食堂で隊員とともに食事を楽しみ、午後からはターミナル内の資料館で厚木航空基地の歴史や所在部隊の紹介、海上自衛隊の制服などの展示を見学した。

最後に、『厚木マーカス』の隊員との懇談会を開催。隊員からは「仕事をしながらサッカーを続けられる環境があるため、自衛隊を選んだ」といった入隊動機が紹介され、生徒からは「普段の仕事はどのようなことをしているのか?」「給料はどのくらいもらえるのか?」などの質問が寄せられた。懇談後には「いろいろ話が聞けてよかった」「自衛官は怖いイメージがあったが、優しく話しやすいかった」などの感想も聞かれ、自衛隊について理解を深める有意義な時間となった。

相模原地域事務所は、「今後も『ジョイトレ』を通じ、スポーツをきっかけに自衛隊をより身近に感じてもらえる機会を提供し、進路の選択肢として検討いただけるよう積極的にアピールしていきたい」としている。

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 栗野晃光 3等陸佐）は、8月7日（木）、海上自衛隊厚木航空基地において、神奈川県立座間高校サッカー部を対象に部活動応援企画『ジョイトレ』を実施した。

『ジョイトレ』は令和3年から行っている企画で、今回は神奈川県社会人サッカー1部リーグに所属し、今年の全国自衛隊サッカー大会で5大会連続・通算22回目の優勝を果たした海上自衛隊サッカーチーム『厚木マーカス』との合同練習を実施した。座間高校の『ジョイトレ』への参加は今回が初めて。

合同練習では、チームごとにウォーミングアップを行った後に、30分間のミニゲームを3回実施。生徒たちは、社会人リーグで活躍する隊員の高い技術や強靱なフィジカルに圧倒されながらも、普段の練習では味わえない貴重な経験に、充実した表情を見せていた。



資料館見学



懇談会

航空学生制度説明会を実施 ～現役自衛官と懇談、理解を深める



神奈川県立座間高校サッカー部を対象に部活動応援企画『ジョイトレ』は、令和3年から行っている企画で、今回は神奈川県社会人サッカー1部リーグに所属し、今年の全国自衛隊サッカー大会で5大会連続・通算22回目の優勝を果たした海上自衛隊サッカーチーム『厚木マーカス』との合同練習を実施した。座間高校の『ジョイトレ』への参加は今回が初めて。

合同練習では、チームごとにウォーミングアップを行った後に、30分間のミニゲームを3回実施。生徒たちは、社会人リーグで活躍する隊員の高い技術や強靱なフィジカルに圧倒されながらも、普段の練習では味わえない貴重な経験に、充実した表情を見せていた。

練習後は、基地食堂で隊員とともに食事を楽しみ、午後からはターミナル内の資料館で厚木航空基地の歴史や所在部隊の紹介、海上自衛隊の制服などの展示を見学した。

最後に、『厚木マーカス』の隊員との懇談会を開催。隊員からは「仕事をしながらサッカーを続けられる環境があるため、自衛隊を選んだ」といった入隊動機が紹介され、生徒からは「普段の仕事はどのようなことをしているのか?」「給料はどのくらいもらえるのか?」などの質問が寄せられた。懇談後には「いろいろ話が聞けてよかった」「自衛官は怖いイメージがあったが、優しく話しやすいかった」などの感想も聞かれ、自衛隊について理解を深める有意義な時間となった。

相模原地域事務所は、「今後も『ジョイトレ』を通じ、スポーツをきっかけに自衛隊をより身近に感じてもらえる機会を提供し、進路の選択肢として検討いただけるよう積極的にアピールしていきたい」としている。

今回の説明会は、海上自衛隊厚木航空基地所属のパイロット1名及び航空学生4名の支援を受けて行われ、募集対象者23名と県内各所の広報官7名が参加した。

冒頭、厚木基地のパイロットが自己紹介に続いて制度概要や処遇について説明し、その後、航空学生が自己紹介を行った。続いて、対象者は今年度受験者と次年度以降の受験希望者に分かれ、パイロットや航空学生を交えた懇談を実施。現役自衛官の体験談や学生生活の様子が語られ、参加者からは「色々な話を聞いて勉強になった」「現場で勤務している自衛官の声を聞いて貴重な経験ができた」などの感想が寄せられ、防衛省・自衛隊への理解を深める機会となった。

横浜中央募集案内所は、「今後も若年層への継続的なフォローを重視し、自衛隊の活動を広く認知していただけるよう努力し、志願者の獲得に尽力する」としている。

神奈川県立座間高校サッカー部を対象に部活動応援企画『ジョイトレ』は、令和3年から行っている企画で、今回は神奈川県社会人サッカー1部リーグに所属し、今年の全国自衛隊サッカー大会で5大会連続・通算22回目の優勝を果たした海上自衛隊サッカーチーム『厚木マーカス』との合同練習を実施した。座間高校の『ジョイトレ』への参加は今回が初めて。

合同練習では、チームごとにウォーミングアップを行った後に、30分間のミニゲームを3回実施。生徒たちは、社会人リーグで活躍する隊員の高い技術や強靱なフィジカルに圧倒されながらも、普段の練習では味わえない貴重な経験に、充実した表情を見せていた。

練習後は、基地食堂で隊員とともに食事を楽しみ、午後からはターミナル内の資料館で厚木航空基地の歴史や所在部隊の紹介、海上自衛隊の制服などの展示を見学した。

最後に、『厚木マーカス』の隊員との懇談会を開催。隊員からは「仕事をしながらサッカーを続けられる環境があるため、自衛隊を選んだ」といった入隊動機が紹介され、生徒からは「普段の仕事はどのようなことをしているのか?」「給料はどのくらいもらえるのか?」などの質問が寄せられた。懇談後には「いろいろ話が聞けてよかった」「自衛官は怖いイメージがあったが、優しく話しやすいかった」などの感想も聞かれ、自衛隊について理解を深める有意義な時間となった。

相模原地域事務所は、「今後も『ジョイトレ』を通じ、スポーツをきっかけに自衛隊をより身近に感じてもらえる機会を提供し、進路の選択肢として検討いただけるよう積極的にアピールしていきたい」としている。

今回の説明会は、海上自衛隊厚木航空基地所属のパイロット1名及び航空学生4名の支援を受けて行われ、募集対象者23名と県内各所の広報官7名が参加した。

冒頭、厚木基地のパイロットが自己紹介に続いて制度概要や処遇について説明し、その後、航空学生が自己紹介を行った。続いて、対象者は今年度受験者と次年度以降の受験希望者に分かれ、パイロットや航空学生を交えた懇談を実施。現役自衛官の体験談や学生生活の様子が語られ、参加者からは「色々な話を聞いて勉強になった」「現場で勤務している自衛官の声を聞いて貴重な経験ができた」などの感想が寄せられ、防衛省・自衛隊への理解を深める機会となった。

横浜中央募集案内所は、「今後も若年層への継続的なフォローを重視し、自衛隊の活動を広く認知していただけるよう努力し、志願者の獲得に尽力する」としている。

神奈川県立座間高校サッカー部を対象に部活動応援企画『ジョイトレ』は、令和3年から行っている企画で、今回は神奈川県社会人サッカー1部リーグに所属し、今年の全国自衛隊サッカー大会で5大会連続・通算22回目の優勝を果たした海上自衛隊サッカーチーム『厚木マーカス』との合同練習を実施した。座間高校の『ジョイトレ』への参加は今回が初めて。

合同練習では、チームごとにウォーミングアップを行った後に、30分間のミニゲームを3回実施。生徒たちは、社会人リーグで活躍する隊員の高い技術や強靱なフィジカルに圧倒されながらも、普段の練習では味わえない貴重な経験に、充実した表情を見せていた。

練習後は、基地食堂で隊員とともに食事を楽しみ、午後からはターミナル内の資料館で厚木航空基地の歴史や所在部隊の紹介、海上自衛隊の制服などの展示を見学した。

最後に、『厚木マーカス』の隊員との懇談会を開催。隊員からは「仕事をしながらサッカーを続けられる環境があるため、自衛隊を選んだ」といった入隊動機が紹介され、生徒からは「普段の仕事はどのようなことをしているのか?」「給料はどのくらいもらえるのか?」などの質問が寄せられた。懇談後には「いろいろ話が聞けてよかった」「自衛官は怖いイメージがあったが、優しく話しやすいかった」などの感想も聞かれ、自衛隊について理解を深める有意義な時間となった。

相模原地域事務所は、「今後も『ジョイトレ』を通じ、スポーツをきっかけに自衛隊をより身近に感じてもらえる機会を提供し、進路の選択肢として検討いただけるよう積極的にアピールしていきたい」としている。

今回の説明会は、海上自衛隊厚木航空基地所属のパイロット1名及び航空学生4名の支援を受けて行われ、募集対象者23名と県内各所の広報官7名が参加した。

冒頭、厚木基地のパイロットが自己紹介に続いて制度概要や処遇について説明し、その後、航空学生が自己紹介を行った。続いて、対象者は今年度受験者と次年度以降の受験希望者に分かれ、パイロットや航空学生を交えた懇談を実施。現役自衛官の体験談や学生生活の様子が語られ、参加者からは「色々な話を聞いて勉強になった」「現場で勤務している自衛官の声を聞いて貴重な経験ができた」などの感想が寄せられ、防衛省・自衛隊への理解を深める機会となった。

横浜中央募集案内所は、「今後も若年層への継続的なフォローを重視し、自衛隊の活動を広く認知していただけるよう努力し、志願者の獲得に尽力する」としている。